

「説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流しよう」

～文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる～

文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、説明的な文章を読み、文章の構成や展開、表現の仕方について、どのような工夫と効果があるのかを考えて、グループで交流する学習を提案します。それぞれの考えの根拠となる段落や部分を具体的に示しながら交流することを通して、文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる力を身に付けることを狙いとします。

課題の見られた問題の概要と結果

① 情報を読む（新聞）

①ー 正答率 **64.6** %

「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する。

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと ウ

授業アイデア例

学習の流れ

「説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流する」ための学習の見通しをもつ。
文章の構成や展開、表現の仕方について、どのような工夫と効果があるのかを各自で考えてワークシートに書く。（第1時）

第1時に記入したワークシートを用いて、文章の構成や展開、表現の仕方について考えたことをグループで交流する。（第2時）

第1時、第2時の学習を踏まえ、文章の構成や展開、表現の仕方についての考えを各自で見直す。
学習を振り返る。（第3時）

（言語活動） 説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流する。

授業前の教師の準備

①ーについての生徒の解答の状況を「解答類型」（平成31年度（令和元年度） 報告書 中学校 国語）に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

● 「解答類型1」、 「解答類型4」の生徒

文章の内容の一部を捉えることはできているが、文章の構成や展開、表現の仕方を分析的に捉え、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりすることができていない。

● 「解答類型3」の生徒

文章の内容を的確に捉えたり、文章全体と部分との関係を考えたりすることができていない。

教材例

- 「海外に広がる弁当の魅力」（平成31年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語①）
- 新聞や雑誌の文章など

第1時

① 学習の見通しをもつ。



書き手は、目的や意図に応じて様々な工夫をして文章を書いています。文章の構成や展開、表現の仕方に留意して文章を読み、どのような工夫と効果があるのかを考えましょう。効果について考える際は、着目している段落や部分と、文章全体や他の部分との関係を踏まえることが大切です。

② 各自で文章を読み、どのような工夫と効果があるのかを各自で考えてワークシートに書く。

※ ワークシートは、着目している段落や部分に印を付けたり、自分の考えを書き込んだりすることができるように、文章全体を載せるなどの工夫をする。（P.4 【Aさんが記入したワークシートの例】 参照）

第1時終了後の教師の分析

第1時終了後に、ワークシートの記述内容を分析する。

授業前に把握した「解答類型1」、「解答類型4」や「解答類型3」に該当する生徒が、次の観点についてできているかどうかを見る。

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、どのような工夫と効果があるのかを考えて書いている。
- 効果について考える際に、着目している段落や部分と、文章全体や他の部分との関係を踏まえている。

第1時終了後に不十分だった生徒については、第2時の交流の様子を観察し、どの段落や部分に着目しているのかを明らかにさせたり、文章全体や他の部分との関係を踏まえてその効果を考えさせたりするなど、必要に応じて指導する。

第2時

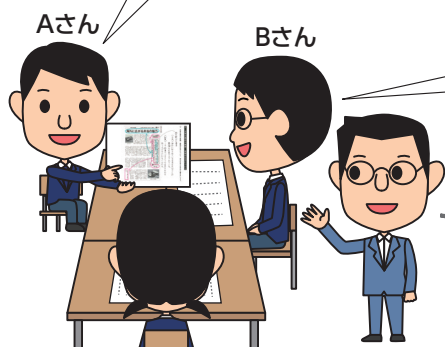
- ③ ②で記入したワークシートを用いて、文章の構成や展開、表現の仕方について考えたことをグループで交流する。



前の時間に記入したワークシートを用いて、それぞれが着目している段落や部分を具体的に示しながら、どのような工夫と効果があるのかを交流しましょう。

〔「海外に広がる弁当の魅力」について交流している場面の例〕

紙面の右上の枠の部分には、海外に知られている日本の文化のことが簡潔な文章で示されています。この記事でどのような日本の文化を取り上げるのかがすぐ分かります。



Aさんが着目した枠の中にある「本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたって、その魅力を紹介していきます。」という部分は、紙面の最後にある「次回は、『漫画』を取り上げます。」という部分と関係があると思います。

Bさん、よい点に着目していますね。その関係からどのようなことが推測できますか。

交流の仕方についての工夫の例

- プロジェクターや実物投影機などのICT機器を用いて移動黒板などに文章全体を映し出したり、文章全体を拡大して印刷した紙を移動黒板などに貼ったりして、その場で印を付けたり言葉を書き込んだりしながら、交流することも考えられる。



第3時

- ④ ③で交流した内容を踏まえ、文章の構成や展開、表現の仕方についての考えを各自で見直し、必要に応じてワークシートに書く。

〔Aさんが記入したワークシートの例〕

- ※ ③で交流した内容を踏まえ、Aさんが書き加えた部分。

☆ 文章の構成や展開、表現の仕方について

○ 文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えを余白に書きましょう。

枠の部分に着目

〈工夫〉海外に知られている日本の文化のことが簡潔な文章で示されている。

〈効果〉この記事でどのような日本の文化を取り上げるのかがすぐ分かる。

〈効果〉（赤の部分の関係にも着目すると）シリーズで取り上げる順に日本の文化の例が示されていることが推測でき、今後の掲載の見通しをもつことができる。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 本授業アイデア例に示した教材の他にも、教科書に掲載されている説明的な文章や、学校図書館にある説明的な文章などを必要に応じて取り上げるとよい。
- 本授業アイデア例の学習の流れを参考にして、第1学年「C 読むこと」(1)イについて授業を展開することも考えられる。